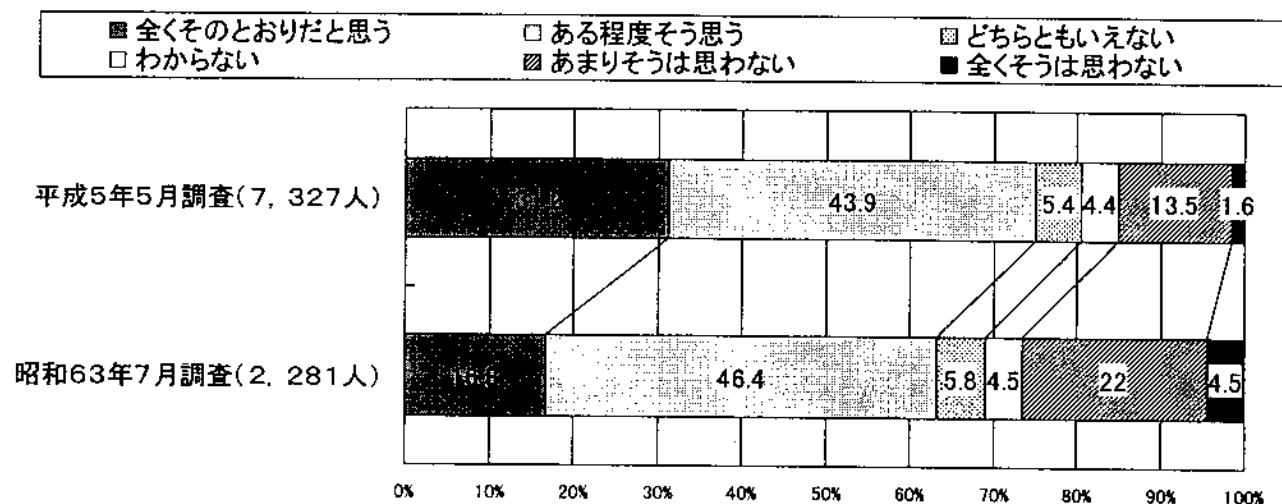


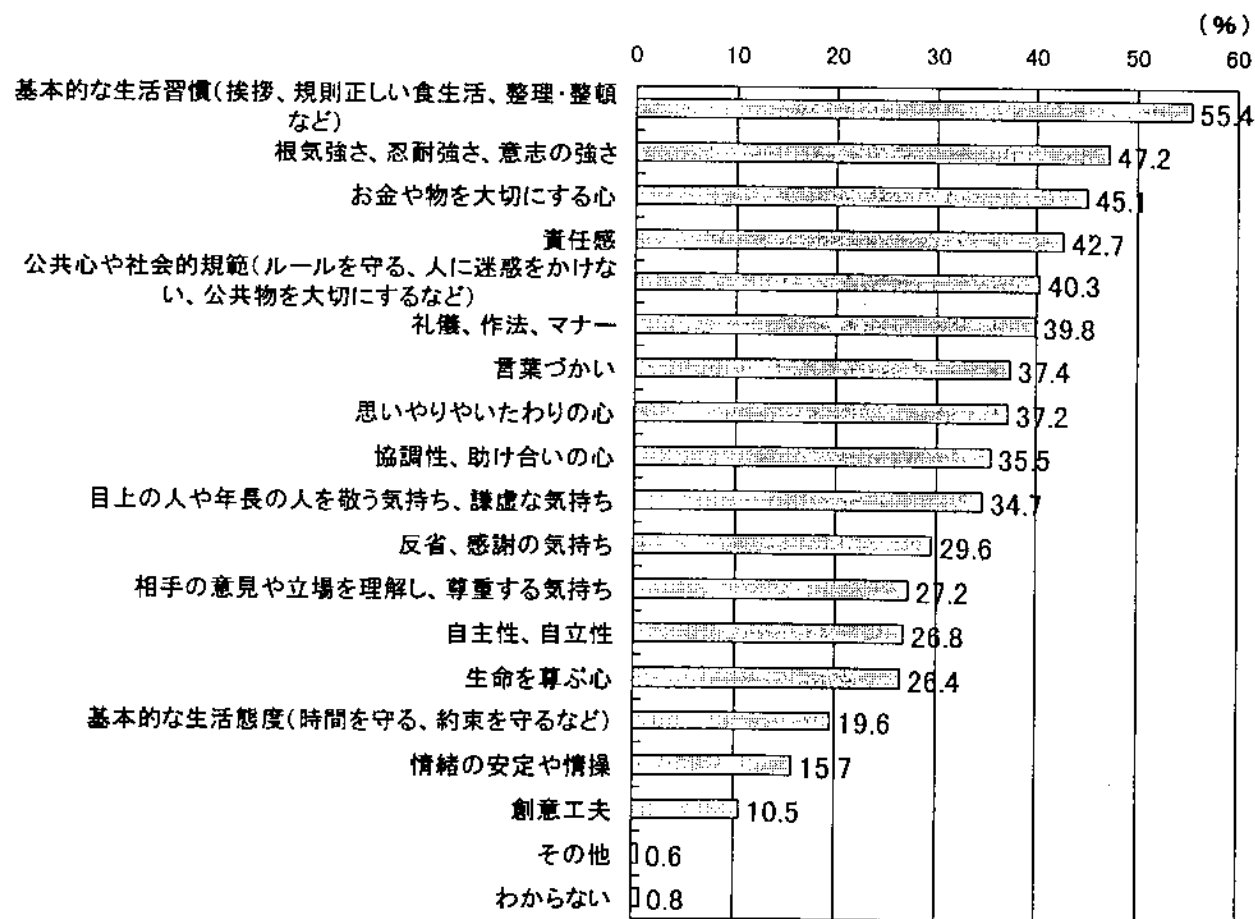
Ⅲ 家庭教育

1 家庭の教育力についての認識

(1) 家庭の教育力低下の認識

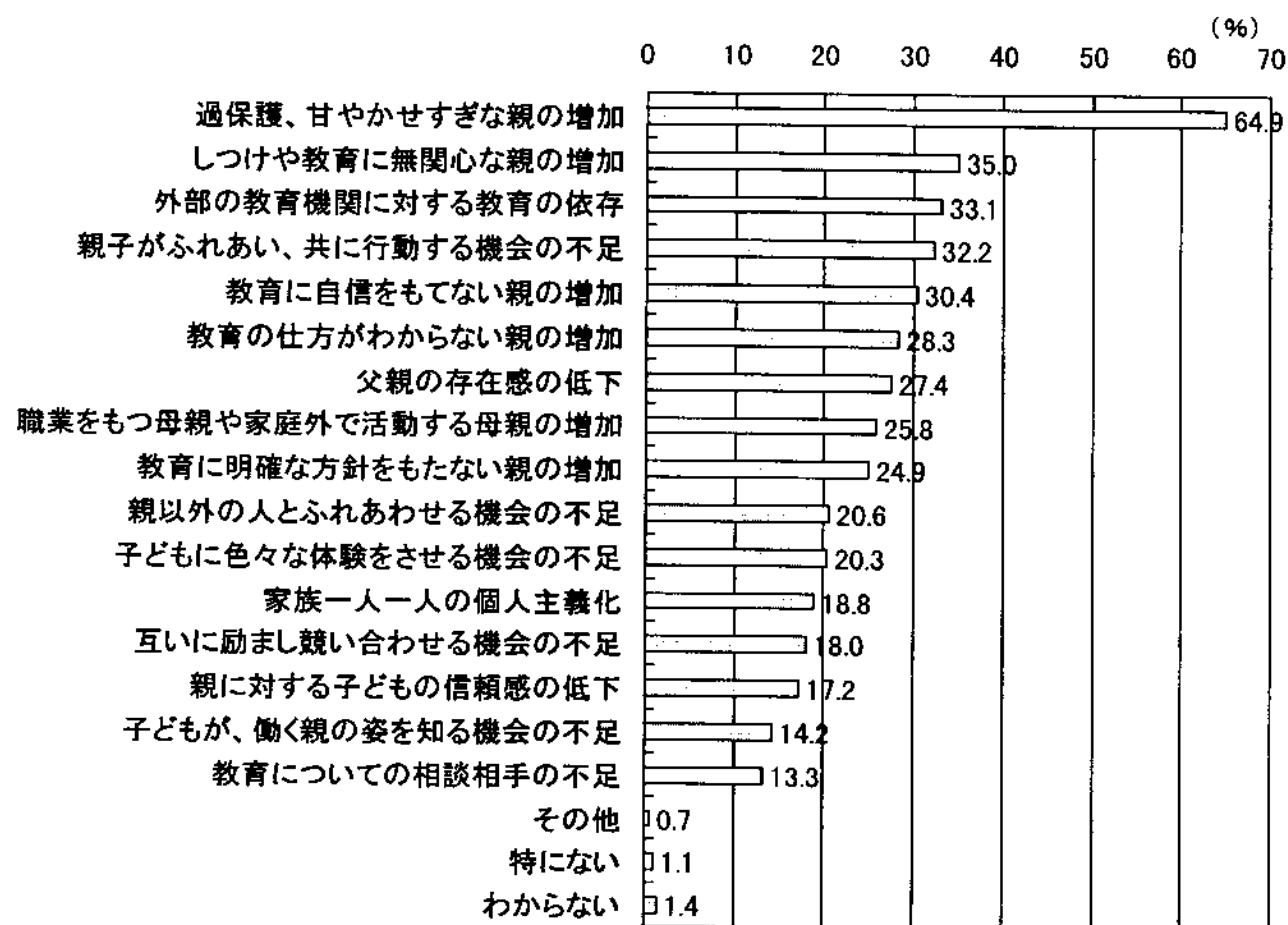


(2) 低下の内容(複数回答)



※全国20歳以上の者のうち、「最近家庭のしつけなど教育する力が低下していると思う」と答えた者の回答

(3) 家庭の教育力が低下していると思う理由（複数回答）



※全国20歳以上の者のうち、「最近では家庭のしつけなど教育する力が低下していると思う」と答えた者の回答

出典：総理府「青少年と家庭に関する世論調査」（平成5年5月）

2 家庭教育の支援施策の充実について

● 家庭教育とは

- 親又はこれに準ずる者が子に対して行う教育をいう。
- 基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナー、自制心や自立心など、[生きる力]の基礎的な資質や能力を育成するものであり、すべての教育の出発点である。

● 背景・現状

- 都市化、核家族化、少子化や地域における地縁的なつながりの希薄化
- 親の過保護や過干渉、育児不安の広がりやしつけに対する自信を喪失など、座視できない状況にある。



家庭の教育力の低下

● 中央教育審議会答申「幼児期からの心の教育の在り方について」(平成10年6月)

国としてこれまで取り上げることに慎重だった家庭におけるしつけの在り方、家庭教育の充実への支援等について、具体的に提言。

提言：「もう一度家庭を見直そう」、「地域で子育てを支援しよう」等

● 教育改革国民会議報告「教育を変える17の提案」(平成12年12月)

「教育の原点は家庭であることを自覚する。」子どものしつけは親の責任と楽しみであり、小学校入学までの幼児期に、必要な生活の基礎訓練を終えて社会に出すのが家庭の任務である。

提言：「しつけ3原則」を作る、すべての親に対する子育て講座などの機会を設ける 等



● 家庭教育の支援のためのさまざまな施策

- ① 就学時健診や乳幼児検診等の機会を活用した子育て講座の開設など、家庭教育に関する学習機会の充実
- ② 家庭でのしつけの在り方等を盛り込んだ「家庭教育手帳・ノート」の作成・配布
- ③ 子育てに関する親の悩みや不安に応えるための家庭教育相談体制の整備
- ④ 子育てサポーター等による子育て支援ネットワークの形成 など